

いきいき笑顔応援プロジェクト 同行訪問報告シート

令和 7 年 2 月 3 日

ケアマネジャー

藤井 花子

利用者

岡 まなり

様

のケースについて

①利用者主訴

40日間入院していたので、足腰が弱ってしまった。しっかり歩けるようになって以前通っていたコスパに通えるようになりたいが、ふらつきがあり運動できない。専門職にアドバイスをもらいたい。

②自身のケアマネジメントや利用者・家族に対して効果のあったこと

ケアマネジメントに効果のあったこと	利用者・家族・事業所に対して効果のあったこと
☒ アセスメントの着眼点を増やすことができた	☒ 本人の自立意欲を高められた
☒ 自立阻害要因を明確にできた	☒ 本人・家族も気付いていなかった可能性を引き出した
☐ 疾患からの身体状況を把握できた	☒ ニーズに沿った活動の機会を提案できた
☒ 具体的・達成可能な目標設定ができた	☐ サービス提供にあたっての具体的な依頼ができた
☒ その他ケアマネジメント力の向上につながった	☒ その他利用者の自立支援につなげることができた

気づき・感想

起居動作や屋外歩行動作時に、SpO2や脈拍を測定することで、活動の許容範囲や可能性を確認するリハ職の先生のアセスメント方法を見て、新たな着眼点を増やすことができました。歩行に不安があって、本人は散歩もできないと思い込んでいましたが、リハ職の先生の評価を受けて本人の活動意欲につながったと思います。

専門職への要望

利用者さんがモチベーションを向上・維持できる工夫などがあれば教えてほしいです。

③訪問した専門職以外に意見・助言を求めた職種または介入が必要と思われる職種

☒ (管理) 栄養士	☐ 薬剤師	☐ 歯科衛生士	☐ 言語聴覚士	☐ 社会福祉士	☐ 精神保健福祉士	
☐ 理学療法士	☐ 作業療法士	☐ 保健師	☐ 看護師	☐ 医師	☐ 歯科医師	☐ 精神科医師
☐ 他 ()						

意見・助言を求めた内容や介入が必要な理由

食欲低下があり、体重が減少し、BMIが18.5未満になっているので、並行して食事指導もあればより効果的かと思います。

④介護保険サービスを利用しない場合は、その理由

☐ 本人が必要を感じていない	☐ 提案できる通いの場や移動手段、サービス等の不足	
☐ 家族が必要を感じていない	☐ サービス利用にかかる費用の問題	☒ タイミングを検討中
☐ 他 ()		

⑤今回のケースに関して、地域に不足していると感じる資源や、市に必要なサービス・制度等

健康体操や趣味活動が行える場所の情報提供。

⑥今回のケースの今後の同行訪問予定（担当者会議、モニタリング、評価等）

予定	☐ 有 ☒ 無 ☐ 未定	日程	頃	目的
----	--	----	---	----